

被覆検相器 (DPC-600S、DPC-1000S)

取扱説明書

このたびは、被覆検相器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用にあたっては、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全に使用するための注意事項

この検相器の設計、製造及びテストは電子測定装置に関する安全規格 CAT III (DPC-1000S:1000V、DPC-600S:600V) に準拠しています。この取扱説明書は利用者が使用時に注意すべき項目や安全を確保するために守るべき点を記載しています。ご使用前に、よくご覧になり正しくお使いください。

⚠ 危険 ... この表示は、その内容を守らずに取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険の状態が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合を示しています。

- 本製品は低圧用です。測定電圧範囲内で使用してください。
- ご使用前に、必ず既知の電源で確認してください。
- 本器を無断で改造したり分解したりしないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告 ... この表示は、その内容を守らずに取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険の状態が生じる可能性があることを示しています。

- 使用を開始する前に本器の外観構造等に異常が無いかを点検してください。
- 本器をぬれた手で使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ペースメーカーなどの体内埋め込み型医療機器を装着している方は使用しないでください。
- 本体裏面の磁石を裸導線等に固定しないでください。短絡事故の原因になります。
- 作業は労働安全衛生規則の「高圧活線作業」及び「高圧活線近接作業」等に従ってください。

⚠ 注意 ... この表示は、その内容を守らずに使用者が取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険の状態が生じる可能性があることを示しています。

- 電磁波を発生するもの、帯電しているものの近くでは使用しないでください。
- ケーブルを踏んだり、挟んだりして、被覆に損傷を与えないでください。
- ケーブルを持って移動したり、付け根を折ったりしないでください。
- 保管する場合は直射日光の当たらない乾燥したところに保管してください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- 子供に触れさせないでください。

特長

- 電線の被覆の上から挟むだけのため安全
- 欠相検出もOK
- 安全な二重絶縁構造 CATIII (DPC-1000S:1000V、DPC-600S:600V) 準拠
- 電池交換表示機能
- 音と光でわかりやすい
- 裏面磁石付で、配電盤等に固定できる
- オートパワーオフ機能
- 専用収納ケース付

仕様

DPC-1000S
セット内容



DPC-600S
セット内容



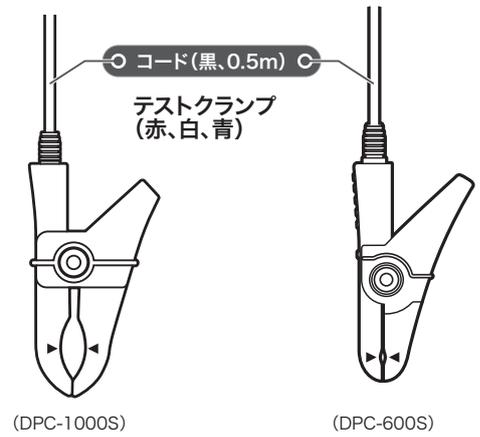
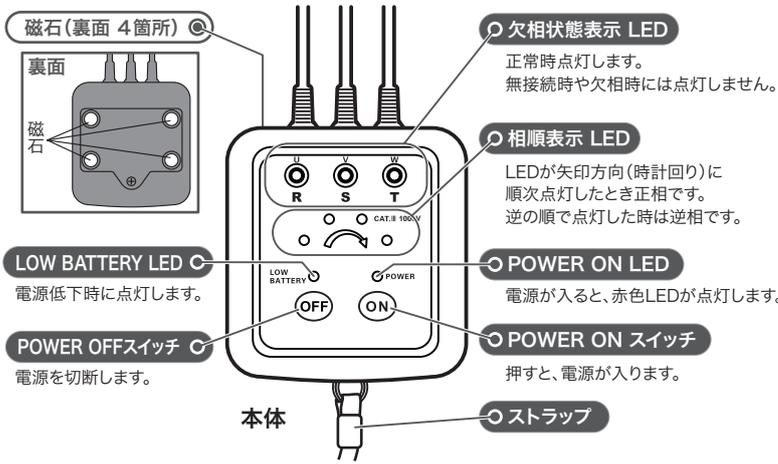
仕様

動作電圧範囲	三相 AC70V~1000V
周波数範囲	45~66Hz
適用クランプ径	φ10~40mm
使用電池	単3乾電池×2(動作確認用付属)
安全規格	CATIII (1000V)
連続使用時間	約150時間
オートパワーオフ機能	無操作5分 または、電源投入後 約10分で自動的にオフ
テストリード長	500mm
寸法(本体)	70×75×30mm
質量(本体)	270g
使用温度範囲	-10~+40℃、80%RH以下(結露なきこと)

仕様

動作電圧範囲	三相 AC70V~600V
周波数範囲	45~66Hz
適用クランプ径	φ1.6~16mm
使用電池	単3乾電池×2(動作確認用付属)
安全規格	CATIII (600V)
連続使用時間	約150時間
オートパワーオフ機能	無操作5分 または、電源投入後 約10分で自動的にオフ
テストリード長	500mm
寸法(本体)	70×75×30mm
質量(本体)	270g
使用温度範囲	-10~+40℃、80%RH以下(結露なきこと)

各部の名前とはたらき



使用方法

注意 電圧センサは静電誘導式のため、三相三線電路における接地相の欠相は判別できません。
この状態においても、正相・逆相の判定をしますのでご注意ください。

使用上の注意

- 検相中はテストクランプに触れないでください。誤動作の原因になります。
- 必ず3本のテストクランプを取付けた状態で検相してください。2本で動作することもあります。正しい検相ではありません。
- 三相交流回路以外では誤動作します。

1. 接続

検相器のテストクランプで、被測定電線を被覆の上から挟みます。(図-1参照)

注意

- ① テストクランプは、被測定電線に対して垂直に挟んでください。誤動作の原因になります。
- ② 被測定電線の線径と各機種(DPC-600S、DPC-1000S)の適用クランプ径が合っていることを確認してください。

2. 電源ON

POWER ON スイッチ(図-2参照)を押して電源をオンにしてください。
POWER ON LEDが点灯します。
LOW BATTERY LEDが点灯した場合は、電池を交換してください。
(下記「電池交換について」参照)

3. 測定

1. 欠相状態の確認(図-3参照)

R S T のLEDが点灯している場合は正常です。
点灯していない相は、接続不備か欠相状態です。

注意

テストクランプを、オープン状態にした場合、誘導電圧を感知する場合がありますので確実に接続してください。

2. 相順表示の確認

- 正相の場合** ・相順表示のLEDが矢印方向(時計回り)に順次点灯
・ブザー音は「ピッ、ピッ…」という断続音が鳴ります。(図-4参照)
- 逆相の場合** ・相順表示のLEDが矢印と逆方向(反時計回り)に順次点灯
・ブザー音は「ピー」という連続音が鳴ります。(図-5参照)

図-1

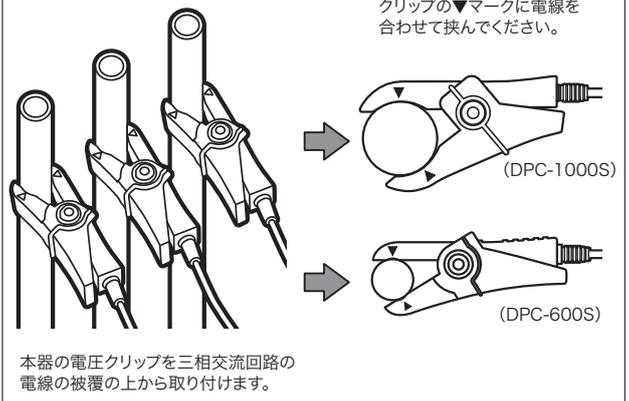


図-2

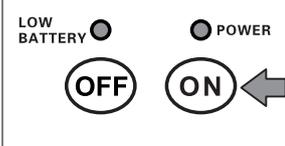


図-3

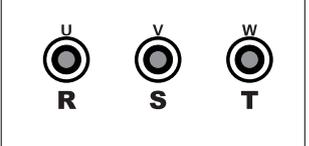


図-4

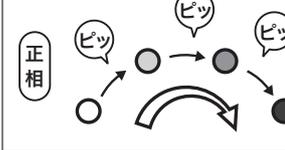
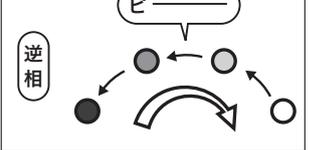


図-5



電池交換について

注意

電池を交換する時は、電源をオフにし、テストクランプを電線から外してから行ってください。

1. 電源をオフにします。
2. 本体裏面のネジを緩めて電池カバーを外します。
3. 古い電池を取出し、新しい電池と交換します。
電池を装着する時は+/-の間違いないようにしてください。
4. 電池カバーを取付け、ネジをしっかり締めてください。

